

社会福祉法人 東大阪市社会福祉事業団 東大阪市立はばたき園

法人理念	障害をもった全ての子どもたち・人々が地域の中できっと当たり前で暮らしていけるよう、その生活と健康を支える。
支援方針	障害をもった子ども、その疑いや心配のある子どもに合わせた発達支援と保護者支援を行います。地域にはばたいていくための移行支援も行います。

児童発達支援センター 支援プログラム

提供時間	9:50	～	14:30	送迎実施の有無	有り
支援内容					
対象	身体障害（新規・継続）		知的・発達（新規）		知的・発達（継続）
クラス	星・月・虹		めろん・みかん・りんご・れもん・いちご・ひまわり・さくら		らいおん、くまぞう・ぶどう
本人支援	健康・生活	クラス指導員や看護師、栄養士が健康状態を確認し、より良い生活習慣や生活リズムの形成を支援します。			
		身体や口腔内の機能に合わせた、関わりやりハビリを行います。	食事や健康面を確認し、生活リズムの安定を図ります。	卒後の生活に向けてADLの確立や健康管理を行います。	
	運動・感覚	季節に合わせた運動遊びや感触遊びを提供し、運動発達を促したり、感覚面の特性への対応を行います。			
		身体機能や感覚面に合わせた遊びを提供します。	様々な運動遊びや感触遊びを提供し、楽しめる遊びを増やします。	感覚面の特性に配慮した遊びを提供し、過敏さへの対応を考えます。	
	認知・行動	認知の特性について確認し、子どもの理解に合わせて適切な行動を習得できるよう支援します。			
		五感を活用して、活動や玩具などを楽しめるよう支援します。	物を操作したり、イメージをもって取り組む遊びを提供します。	見通しをもって行動できるよう、子どもの理解に合わせて関わります。	
	言語・コミュニケーション	子どもに分かりやすく伝え、関わり方のモデルを提示し、子どもの発信（要求・拒否・選択）を引き出します。			
		言葉に視覚的な手がかりを添えて関わり、外界の理解を促します。	子どもが取り組みやすい発信（言葉、身振り等）を引き出します。	予定や活動の内容を視覚的に伝え、子どもの理解や行動を促します。	
	人間関係・社会性	家族以外の大人や友だちと関係を築き、やりとりを楽しむ経験を積むことで、社会的な行動を習得する。			
		子どものペースでプログラムややりとりに参加できるよう配慮します。	遊びの中で、特定の他者とのやりとりを楽しめるよう支援します。	少人数で取り組むことで、順番や交代などのルールを習得します。	
地域支援 地域連携	子どもが利用する障害児相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、他の障害児通所支援事業所等とサービス担当者会議や電話連絡などで連携を行います。				
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、幼稚園、小学校、支援学校への移行支援（連絡調整、引継ぎ等）を行います。 ・保育所等と併行利用している場合、併行利用先の意向に応じて連携を行います。 				
家族支援	日々の療育の中で子どもに合わせた関わり方を一緒に考えます。また、保護者研修や療育教室の中で、進路先や社会資源についての情報提供を行います。				
	療育やリハビリで行ったことを家庭でできるよう支援します。	障害やその疑いがある子どもの理解や関わり方を一緒に考えます。	子どもの状態や特性に合わせた進路について一緒に考えます。		
職員の質の向上	人権研修、虐待防止研修、事故防止研修、感染予防研修、事例検討会などを実施し、職員のスキルアップと支援の質の向上に努めています。				
主な行事等	入園式、日曜参観、夏祭り、運動会、遠足、クリスマス会、卒園式などを行っています。地域のイベント（ふれあいのつどい）などに参加しています。				